

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0

インストールガイド

メモ、注意、警告

① **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 はじめに	4
2 インストールの必要条件	5
対応デバイス.....	5
3 Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のダウンロードとインストール	6
4 インストール後の作業	7
Operations Connector 用の OME 接続パラメータの設定.....	7
タスクスケジューラのパラメータの設定.....	8
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のポリシーのアクティブ化.....	9
トポロジ統合ポリシーのアクティブ化.....	9
イベント統合ポリシーのアクティブ化.....	9
ノード数情報ポリシーのアクティブ化.....	10
HPE Operations Manager i コンソールでのカスタムビューの作成.....	10
HPE Operations Manager i コンソールでの OME URL ツールの設定.....	13
5 Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector の修復	15
インストーラを使用したプログラム機能の修復.....	15
Windows コントロールパネルを使用したプログラム機能の修復.....	15
6 Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール	16
ポリシーの無効化と削除.....	16
インストーラを使用した Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール.....	16
Windows コントロールパネルを使用した Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール	
ール	17
7 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス	18

はじめに

本ガイドでは、Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0 のソフトウェア要件、システム要件、およびインストールとアンインストールの手順を説明します。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector には、Dell EMC OpenManage Essentials (OME) を HPE Operations Manager i (OMi) と統合する機能があります。OME 向け Operations Connector は、イベントとトポロジに関するシステム管理データを OME から収集して OMi に転送することにより、システム管理者と IT 管理者がデータセンター内の Dell EMC デバイスの包括的なビューを容易に得られるようにします。OMi 環境から OME の Web コンソールを直接起動することもでき、Dell EMC デバイスの詳細なトラブルシューティング、設定、管理が行えます。

OME 向け Operations Connector を使うと、以下のことが可能になります。これにより、Dell EMC デバイスのライフサイクル管理を行う OME 環境と、OMi でのビジネスサービス管理とを結び付けることができます。

- トポロジ情報をほぼリアルタイムで同期 - OME から OMi
- イベント情報をほぼリアルタイムで同期 - OME から OMi

OME 向け Operations Connector インストーラ、インストールガイド、およびリリースノートが、自己解凍型の実行可能ファイル **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector v1.0_A00.exe** にパッケージ化されています。本バージョンの OME 向け Operations Connector をインストールする前に、Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals から最新の文書をダウンロードしてください。

インストールの必要条件

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector をインストールするための要件は、以下のとおりです。

- HPE Operations Connector サーバで、ローカル管理者特権を持っていること。
- HPE Operations Connector サーバで、少なくとも 10 GB のハードディスクスペースを使用できること。
- 下表に示すソフトウェア要件を満たしていること。

表 1. ソフトウェア要件

コンポーネント	対応バージョン	対応オペレーティングシステム
HPE Operations Manager i (OMi)	10.12	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2012 R2 Datacenter Edition (64 ビット) • Windows Server 2012 Datacenter Edition (64 ビット) <p>① メモ: 対応バージョンの Windows ゲストオペレーティングシステムを実行している ESXi もサポートされます。</p>
HPE Operations Connector	10.11	
Dell EMC OpenManage Essentials (OME)	2.2 および 2.3	Dell.com/openmanagemanuals にある『OpenManage Essentials Versions 2.2 and 2.3 Support Matrix』(OpenManage Essentials バージョン 2.2 および 2.3 サポートマトリックス) を参照してください。

① **メモ:** OME と HPE Operations Connector は、それぞれ個別のホストシステムにインストールすることをお勧めします。

対応デバイス

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector は、OpenManage Essentials (OME) が対応しているすべての Dell EMC デバイスに対応します。対応する Dell EMC デバイスの詳細については、『**OpenManage Essentials Versions 2.2 and 2.3 Support Matrix**』(OpenManage Essentials Versions 2.2 および 2.3 サポートマトリックス) を参照してください (Dell.com/OpenManageManuals にあります)。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のダウンロードとインストール

- 1 OME 向け Operations Connector インストーラを **Dell.com/support** からダウンロードします。
- 2 HPE Operations Connector サーバで、**Dell_EMCMOpenManage_HPE_OMi_Operations_Connector_v1.0_A00.exe** ファイルの内容を抽出します。
次のファイルが抽出されます。
 - Dell_EMCMOpenManage_HPE_OMi_Operations_Connector_v1.0_A00_Setup.exe ファイル
 - Dell_EMCMOpenManage_HPE_OMi_Operations_Connector_v1.0_IG.pdf ファイル
 - Dell_EMCMOpenManage_HPE_OMi_Operations_Connector_v1.0_ReadMe.txt ファイル
- 3 **Dell_EMCMOpenManage_HPE_OMi_Operations_Connector_v1.0_A00.exe** ファイルの内容を抽出したディレクトリに移動し、**Dell_EMCMOpenManage_HPE_OMi_Operations_Connector_v1.0_Setup.exe** ファイルを実行します。
① | メモ: HPE Operations Connector をインストールしていない場合は、エラーメッセージが表示されて、HPE Operations Connector のインストールを求められます。
- 4 ようこそ 画面で、**次へ** をクリックします。
- 5 **ライセンス契約に同意する** オプションを選択して **次へ** をクリックします。
- 6 **Install** (インストール) をクリックし、インストールが完了するのを待ちます。
- 7 **終了** をクリックします。

インストール後の作業

OME 向け Operations Connector を正常にインストールした後は、以下の手順を実行する必要があります。

- 1 Operations Connector 用の OME 接続パラメータの設定
- 2 タスクスケジューラのパラメータの設定
- 3 Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のポリシーのアクティブ化
- 4 HPE Operations Manager i コンソールでのカスタムビューの作成
- 5 HPE Operations Manager i コンソールでの OME URL ツールの設定

トピック：

- Operations Connector 用の OME 接続パラメータの設定
- タスクスケジューラのパラメータの設定
- Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のポリシーのアクティブ化
- HPE Operations Manager i コンソールでのカスタムビューの作成
- HPE Operations Manager i コンソールでの OME URL ツールの設定

Operations Connector 用の OME 接続パラメータの設定

OME 向け Operations Connector のインストール後、設定ユーティリティを使用して OpenManage Essentials (OME) 接続パラメータを設定する必要があります。

OME のパラメータ (OME ホスト名、ドメイン名、ユーザー名、パスワード、ポート番号など) を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations Connector サーバで、%OvDataDir%\conf\DellEMCBsmIntOME\scripts に移動します。

① **メモ:** <OvDataDir> は、HPE Operations Agent のデータディレクトリです。Windows オペレーティングシステム向けの <OvDataDir> のデフォルト値は、C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。

- 2 ローカル管理者として、以下のコマンドライン引数を実行します。

表 2. Operations Connector 用の OME 接続パラメータ

パラメータ	構文	説明
OME Host Name (OME ホスト名)	configureBsmconnectorForOME.bat - setomehostname	このコマンドは、OME がインストールされているホストの IPv4 アドレスまたはホスト名を設定するために使用します。 例えば次のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 アドレス : 100.100.28.66 • ホスト名 : omeserver
OME User Name (OME ユーザー名)	configureBsmconnectorForOME.bat - setomeuser	このコマンドは、OME ホスト名の設定で指定した OME ホスト名との通信に使われるユーザー名資格情報を設定するために使用します。

パラメータ	構文	説明
OME Password(OME パスワード)	<code>configureBsmconnectorForOME.bat - setomepassword</code>	ユーザーが、OME の有効な Windows ローカル/管理ユーザーであるか、OME と同じ Active Directory ドメインの一部であることを確認します。 このコマンドは、OME ユーザー名の設定で指定した OME ユーザーのパスワードを設定するために使用します。
OME Domain Name (OME ドメイン名)	<code>configureBsmconnectorForOME.bat - setomedomain</code>	このコマンドは、OME との通信用の OME ユーザー資格情報で使われる Active Directory ドメイン名を設定するために使用します。
OME Port Number (OME ポート番号)	<code>configureBsmconnectorForOME.bat - setomeport</code>	このコマンドは、OME との接続用のポート番号を設定するために使用します。 ポート番号を指定しない場合、デフォルトの OME ポート番号 2607 が使用されます。 OME のインストール中に別のポート番号を指定した場合は、OME ポート番号を設定するときも、それと同じポート番号を指定してください。

① **メモ:** OME ユーザー固有の情報については、Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals にある『OpenManage Essentials User's Guide』(OpenManage Essentials ユーザーズガイド)を参照してください。

タスクスケジューラのパラメータの設定

次のタスクスケジューラは、OME 向け Operations Connector のインストール後に設定する必要があります。

- Dell EMC イベントスケジューラ — OME からトポロジ情報を収集します。
- Dell EMC トポロジスケジューラ - OME からイベント情報を収集します。

タスクスケジューラのパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations コネクタサーバで、**Task Scheduler** (タスクスケジューラ) を開きます。
- 2 左ペインで、**タスクスケジューラライブラリ** を選択します。
- 3 右ペインに、次のタスクが表示されます。
 - Dell EMC イベントスケジューラ
 - Dell EMC トポロジスケジューラ
- 4 各タスクをダブルクリックします。

タスクごとに **Properties** (プロパティ) ウィンドウが表示されます。**Properties** (ウィンドウ) で、次の設定を行います。

- a **General** (一般) タブの **Security options** (セキュリティオプション) で、**Run whether user is logged on or not** (ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する) オプションを選択します。
- b **OK** をクリックします。
- c プロンプトが表示されたら、ユーザーのログイン資格情報を入力します。

① **メモ:** Dell EMC イベントスケジューラタスクおよび Dell EMC トポロジスケジューラタスクを初めて設定している場合は、スケジューラタスクを必ず手動で実行してください。

- 5 **OK** をクリックします。
- 6 各タスクを右クリックして、**Run** (実行) をクリックします。

① **メモ:** Dell EMC イベントスケジューラと Dell EMC トポロジスケジューラの両方が実行されていることを確認します。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のポリシーのアクティブ化

OpenManage Essentials (OME) から Operations Manager i (OMi) コンソールに、デバイス、イベント、およびノード数情報を生成するには、OME 向け Operations Connector のポリシーをアクティブにする必要があります。ポリシーの詳細については、Dell.com/support/manuals に移動し、**Software and Security (ソフトウェアとセキュリティ) > Enterprise System Management (エンタープライズシステム管理)** と進んで、『Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector User's Guide』(Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector ユーザーズガイド) の「Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector policies」(Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のポリシー) の項を参照してください。

OME 向け Operations Connector のポリシーは、以下のとおりです。

- 1 トポロジ統合ポリシーのアクティブ化
- 2 ノード数情報ポリシーのアクティブ化
- 3 イベント統合ポリシーのアクティブ化

トポロジ統合ポリシーのアクティブ化

OME と OMi の間で Dell EMC デバイスのトポロジ同期を定期的に行うために、Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector でトポロジ統合ポリシーをアクティブにする必要があります。

トポロジ統合ポリシーをアクティブにするには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations Connector コンソールを起動します。
ポリシーのリストが表示されます。
- 2 ポーリング間隔を変更する場合は、次の手順を実行します。
 - a **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector-Topology Integration** (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - トポロジ統合) ポリシーをダブルクリックします。
Policy Editor (ポリシーエディタ) ウィンドウが表示されます。
 - b **Source** (ソース) タブをクリックします。
 - c **Polling Interval** (ポーリング間隔) フィールドに、必要なポーリング間隔を入力します。
 - d **Save** (保存) をクリックします。
変更した内容が正常に保存されます。

① **メモ:** デバイスのポーリング間隔はデフォルトで 24 時間に設定されます。

- 3 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector-Topology Integration** (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - トポロジ統合) を右クリックして、**Activate** (アクティブ化) をクリックします。
トポロジ統合ポリシーがアクティブになります。

① **メモ:** Policy Editor (ポリシーエディタ) ウィンドウでは、ポーリング間隔を除き、利用可能なパラメータは変更しないことをお勧めします。

① **メモ:** トポロジ統合ポリシーのポーリング間隔と、トポロジスケジューラタスクのトリガー間隔は、必ず同じになるようにしてください。

イベント統合ポリシーのアクティブ化

OME と OMi の間で Dell EMC デバイスに関連するイベントの同期を定期的に行うために、Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector でイベント統合ポリシーをアクティブにする必要があります。

イベント統合ポリシーをアクティブにするには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations Connector コンソールを起動します。

ポリシーのリストが表示されます。

- 2 ポーリング間隔を変更する場合は、次の手順を実行します。
 - a **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector–Event Integration** (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector – イベント統合) ポリシーをダブルクリックします。
Policy Editor (ポリシーエディタ) ウィンドウが表示されます。
 - b **Source** (ソース) タブをクリックします。
 - c **Polling Interval** (ポーリング間隔) フィールドに、必要なポーリング間隔を入力します。
 - d **Save (保存)** をクリックします。
変更した内容が正常に保存されます。

① | **メモ:** デバイスのポーリング間隔はデフォルトで 5 分に設定されます。

- 3 OMi コンソールに転送されたイベントが正しいタイムスタンプで表示されるようにするには、次の手順を実行して、**Time Created** (作成時) フィールドの値を変更します。
 - a **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector–Event Integration** (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector – イベント統合) ポリシーをダブルクリックします。
Policy Editor (ポリシーエディタ) ウィンドウが表示されます。
 - b **Defaults** (デフォルト) タブをクリックし、**Event Attributes** (イベント属性) をクリックします。
 - c **Time Created** (作成時) フィールドで、デフォルト値を変更します。
例えば、ご自分のタイムゾーンが UTC よりも 5 時間 30 分進んでいる場合は、デフォルト値 `<$DATA:/event/Time>` を `<$DATA:/event/Time> +5.5` に変更します。
 - d **Save (保存)** をクリックします。
- 4 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector–Event Integration** (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector – イベント統合) を右クリックして、**Activate** (アクティブ化) をクリックします。
イベント統合ポリシーがアクティブになります。

① | **メモ:** Policy Editor (ポリシーエディタ) ウィンドウでは、ポーリング間隔を除き、利用可能なパラメータは変更しないことをお勧めします。

① | **メモ:** イベント統合ポリシーのポーリング間隔と、イベントスケジューラタスクのトリガー間隔は、必ず同じになるようにしてください。

ノード数情報ポリシーのアクティブ化

OMi で各トポロジ情報を利用できるようになった後は、収集されたノード数を表示するために、ノード数情報ポリシーをアクティブにする必要があります。ノード数情報ポリシーをアクティブにするには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations Connector コンソールを起動します。
ポリシーのリストが表示されます。
- 2 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector–Node Count Information** (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector - ノード数情報) ポリシーを右クリックして、**Activate** (アクティブ化) をクリックします。

HPE Operations Manager i コンソールでのカスタムビューの作成

HPE Operations Manager i (OMi) コンソールでカスタムビューを作成することをお勧めします。これにより、以下のことが可能になります。

- すべての Dell EMC デバイスを関連イベントと共に表示できます。
- Dell ドメインマネージャ (OME) から転送された Dell EMC インフラストラクチャ情報を表示できます。これは、デバイスを容易に管理するために役立ちます。
- アクティブなイベントのために必要なアクション (イベントを閉じる、個別のツールを起動するなど) を実行できます。

OMi でカスタムビューを作成するには、次の手順を実行します。

- 1 OMi コンソールで、**Administration (管理) > RTSM Administration (RTSM 管理) > Modeling (モデリング) > Modeling Studio** を開きます。
- 2 **Resources (リソース)** タブをクリックします。
Resources (リソース) タブは、CI Selector (CI セレクタ) と CI Types (CI タイプ) と共に表示されます。
- 3 **Resource Type (リソースタイプ)** フィールドで、ドロップダウンリストから **Models (モデル)** を選択します。
左ペインに **CI Collections** リストが表示されます。
- 4 OME ホスト名または OME IP アドレスを右クリックして、**Open Model (モデルを開く)** を選択します。
右ペインに、選択した OME ホスト名または OME IP アドレスに対応するデバイス階層が表示されます。

① **メモ: 必ず、OME 接続パラメータの設定 (「Operations Connector 用の OME 接続パラメータの設定」 の項) で指定したものと
同じ OME ホスト名または OME IP アドレスを選択するようにしてください。**

- 5 OME ホスト名 (トップノード) を右クリックして、**Generate view for selected model (選択されたモデルのビューの生成)** をクリックします。

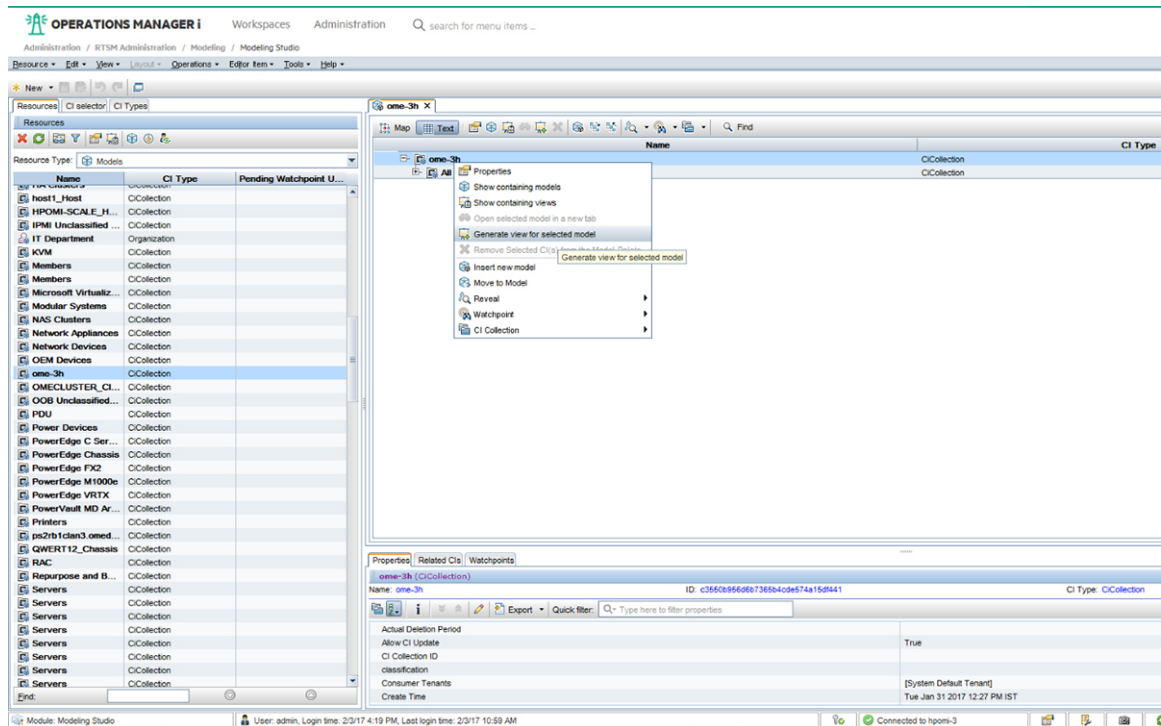


図 1. 選択されたモデルのビューの生成

Creating New View (新規ビューの作成) ウィンドウが表示されます。

- 6 **Creating New View (新規ビューの作成)** ウィンドウで、**Available Perspectives (利用可能なパースペクティブ)** ペインから **Content only - including links (コンテンツのみ - リンクを含む)** を選択し、それを **Selected Perspectives (選択されたパースペクティブ)** ペインに移動します。

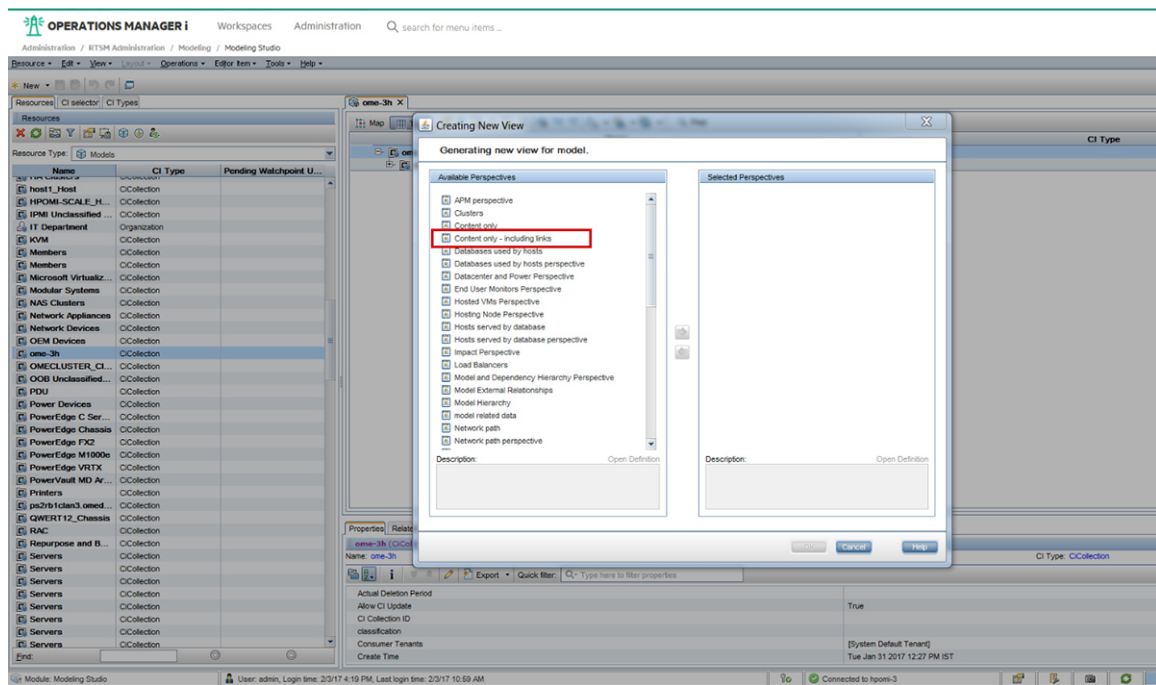


図 2. 新規ビューの作成

- 7 **OK** をクリックします。

Perspective_Based_View_x (パースペクティブベースのビュー x) ウィンドウが作成されます。「x」は変数です。

- 8 **Save (保存)** をクリックします。

Perspective Based View (パースペクティブベースのビュー) ウィンドウが表示されます。

- 9 **View Name** (ビュー名) フィールドに目的の名前を入力し、**OK** をクリックします。

OMi コンソールでの Dell EMC デバイスの表示に関する詳細については、『*Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector User's Guide*』(Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector ユーザーズガイド) の「Viewing the devices in HPE OMi console」(HPE OMi コンソールでのデバイスの表示) の項を参照してください (Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または Dell.com/openmanagemanuals にあります) 。

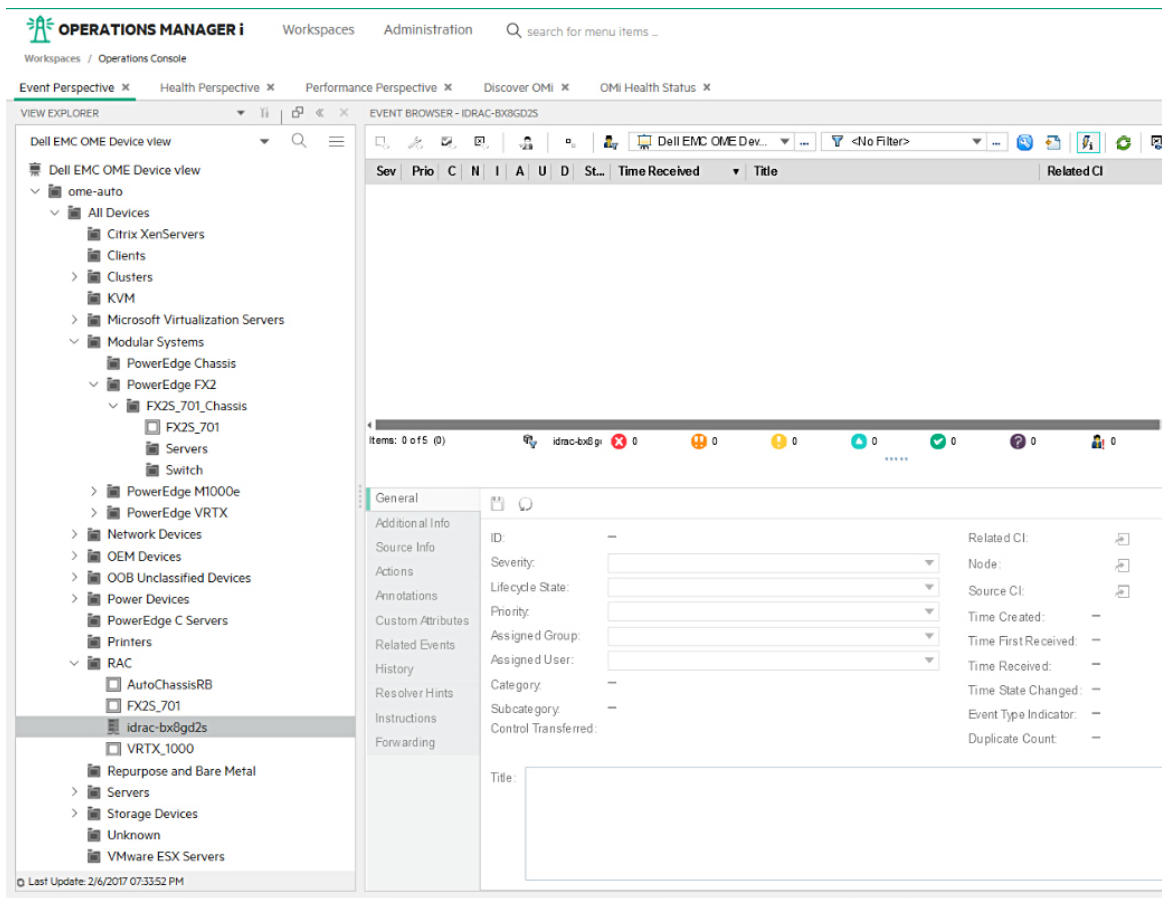


図 3. Dell EMC デバイスの表示

HPE Operations Manager i コンソールでの OME URL ツールの設定

Operations Manager i (OMi) で OpenManage Essentials (OME) URL ツールを設定すると、OMi から OME Web コンソールを起動して、Dell EMC デバイスのために詳細なトラブルシューティング、設定、および管理アクティビティを行うことができます。

OME URL ツールを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 OMi コンソールで、**Administrator (管理者) > Operations Console (操作コンソール) > Tools (ツール)** をクリックします。
- 2 左ペインで、**ConfigurationItem (設定項目) > InfrastructureElement (インフラストラクチャ要素)** をクリックします (**CI Types (CI タイプ)** 内にあります)。
右ペインに、**InfrastructureElement - Tools (インフラストラクチャ要素 - ツール)** ペインが表示されます。
- 3 **InfrastructureElement - Tools (インフラストラクチャ要素 - ツール)** ペインで、* (新規アイテム) アイコンをクリックします。
Create New Tool (新規ツールの作成) ウィンドウが表示されます。
- 4 **Create New Tool (新規ツールの作成)** ウィンドウで、次の手順を実行します。
 - a **Display Name (表示名)** フィールドと **Name (名前)** フィールドに、目的の値を入力します。
 - b **Category (カテゴリ)** で **Default Category (デフォルトカテゴリ)** を選択します。
 - c **Next (次へ)** をクリックします。
 - d **Type (タイプ)** で **URL** を選択します。
 - e **Next (次へ)** をクリックします。
 - f **URL** フィールドで、OME の URL を `https://<OME IP address or OME FQDN>:<OME Port Number>` という形式で入力します。

例えば、`https://100.100.28.66:2607` のように入力します。

① | メモ: デフォルトの OME ポート番号は 2607 です。OME のインストール中に別のポート番号を指定した場合は、OME URL の作成中にも、それと同じポート番号を指定してください。

- g **Test** (テスト) をクリックして、OME コンソールの起動を確認します。
OME コンソールが正常に起動されます。
- h **終了** をクリックします。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector の修復

いずれかのファイルが失われた場合や破損した場合は、**修復オプション**を使用して、ファイルを置換できます。次のいずれかの方法で、失われたファイルまたは破損したファイルを置換できます。

- OpenManage HPE OMi Operations Connector インストーラ
- Windows コントロールパネル

トピック：

- [インストーラを使用したプログラム機能の修復](#)
- [Windows コントロールパネルを使用したプログラム機能の修復](#)

インストーラを使用したプログラム機能の修復

インストーラを使用して、破損したファイルや失われたファイルを修復するには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations Connector サーバで、インストーラを抽出した場所に移動します。
- 2 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector v1.0_Setup.exe** ファイルをダブルクリックします。
- 3 **ようこそ** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 4 **Program Maintenance** (プログラムメンテナンス) 画面で **Repair** (修復) を選択し、**Next** (次へ) をクリックします。
- 5 **Install** (インストール) をクリックし、**Finish** (終了) をクリックします。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0 が正常に修復されます。

Windows コントロールパネルを使用したプログラム機能の修復

Windows コントロールパネルを使用して、破損したファイルや失われたファイルを修復するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタートメニュー** から、**コントロールパネル > プログラム > プログラムのアンインストール** をクリックします。
- 2 **プログラムのアンインストールまたは変更** ウィンドウで、**Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0** を選択し、**修復** をクリックして、修復プロセスを開始します。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0 が正常に修復されます。

Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール

OME 向け Operations Connector をアンインストールする前に、HPE Operations Connector コンソールから、OME 向け Operations Connector のポリシーを必ず手動で無効にして削除するようにしてください。

- Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector – トポロジ統合ポリシー
- Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector – ノード数情報ポリシー
- Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector – イベント統合ポリシー

ポリシーの無効化と削除の詳細については、「[ポリシーの無効化と削除](#)」を参照してください。

アクティブなポリシーを正常に無効にして削除した後は、以下を使用して、OME 向け Operations Connector をアンインストールできます。


- OpenManage HPE OMi Operations Connector インストーラ
- Windows コントロールパネル

トピック：

- [ポリシーの無効化と削除](#)
- [インストーラを使用した Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール](#)
- [Windows コントロールパネルを使用した Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール](#)

ポリシーの無効化と削除

ポリシーを無効にして削除するには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations Connector コンソールを起動します。
ポリシーのリストが表示されます。
- 2 各ポリシーを右クリックして、**Deactivate**（無効化）をクリックします。
ポリシーが正常に無効になります。
- 3 （削除）アイコンをクリックします。
無効になったポリシーが正常に削除されます。

インストーラを使用した Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール

インストーラを使用して OME 向け Operations Connector を削除するには、次の手順を実行します。

- 1 HPE Operations サーバで、インストーラを抽出した場所に移動します。
- 2 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector v1.0_Setup.exe** ファイルをダブルクリックします。
- 3 **Welcome**（ようこそ）画面で、**Next**（次へ）をクリックします。

- 4 **Program Maintenance** (プログラムメンテナンス) 画面で **Remove** (削除) を選択し、**Next** (次へ) をクリックします。
- 5 画面の指示に従って、コネクタのアンインストールを完了します。
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0 が正常にアンインストールされます。

Windows コントロールパネルを使用した Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector のアンインストール

Windows コントロールパネルを使用して OME 向け Operations Connector を削除するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタートメニュー** から、**コントロールパネル > プログラム > プログラムのアンインストール** をクリックします。
プログラムのアンインストール ウィンドウが表示されます。
- 2 **Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector Version 1.0** (Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0) をクリックし、**アンインストール** をクリックします。
プログラムと機能 ウィンドウが表示されます。
- 3 **Yes** (はい) をクリックします。
Dell EMC OpenManage HPE OMi Operations Connector バージョン 1.0 が正常にアンインストールされます。

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

次のリンクを使用して、必要なドキュメントにアクセスします。

- Dell EMC Enterprise システム管理マニュアル — [Dell.com/SoftwareSecurityManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC OpenManage マニュアル — [Dell.com/OpenManageManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/esmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- iDRAC および Dell EMC Lifecycle Controller マニュアル — [Dell.com/idracmanuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — [Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement](https://www.dell.com/support/manuals)
- Dell EMC 保守ツールマニュアル — [Dell.com/ServiceabilityTools](https://www.dell.com/support/manuals)
- Client Command Suite システム管理マニュアル — [Dell.com/DellClientCommandSuiteManuals](https://www.dell.com/support/manuals)
- a [Dell.com/Support/Home](https://www.dell.com/support/home) に移動します。
- b **Choose from all products (すべての製品から選択)** をクリックします。
- c **All products (すべての製品)** セクションで **Software & Security (ソフトウェアおよびセキュリティ)** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **Enterprise Systems Management (エンタープライズシステム管理)**
 - **Remote Enterprise Systems Management (リモートエンタープライズシステム管理)**
 - **Serviceability Tools (保守ツール)**
 - **Dell Client Command Suite (デルクライアントコマンドスイート)**
 - **Connections Client Systems Management (接続クライアントシステム管理)**
- d ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。